

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1934), 14(157)
Issue Date	1934-04-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/165528
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

東京帝國大學
昭和
9.5.17
附屬圖書館

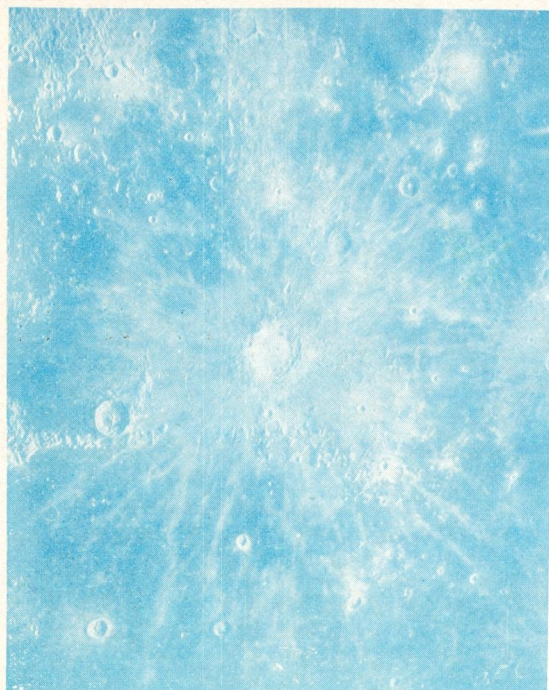
天 界

五 月 號

獨國ポツダム天文臺

アインシュタイン塔内の太陽鏡

月の面貌



コペルニクス附近

日食観測記念講演を終へて



上田令息

山本夫人

上田夫人

柴田夫人

上田博士

山本博士

柴田理學士

昭和九年五月例會は下の如く開きます。好い時候になりましたから例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日：五月二十六日(土曜)午後三時

場所：京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、¹蹴上げ²で下車、それから東海道筋を五丁ほど東進し、¹花山道路²に入る。

又は、三條大橋から¹花山道路²入口まで乗合バスあり。

當日、興味ある講演が多くあり、其の後、クク望遠鏡で天體觀望も致します。又、山口縣胡枝氏作精密三球儀とブラジル支部から送られた考古學資料の展覽會を開きます。

天 界 第百五十七號 (第十四卷) 昭和九年五月號 要 目

〔寫眞〕月世界コペルニクス附近、日食觀測報告講演會の後に、支那の南京紫金山の新天文臺に設備される大反射望遠鏡。

編輯室より	241
東亞天文協會1934年四月例會の記事	242
カメラは無数の星を發見す	英 國 S.H.グルム 243
花山だより	246
天文用語に關する私見 (2)	(山 本 生) 247
明治七年發行の ¹ 天文歌 ² について	倉 敷 森 安 康 平 251
研究欄 { 天界新知識 3件	253
研究欄 { 最近の外國天文雜誌要目	255
研究欄 { 最近の花山ブレテン	257
研究欄 { 東亞天文協會觀測部月報○流星○變光星○遊星面○黃道光	
研究欄 { ○太陽○寫眞	260
福山義倉圖書館に於ける天文に關する圖書	廣 井 猛 269
日食遠征日誌 (3)	理 學 士 柴 田 淑 次 271
昭和九年五月の天象	278
會報、支部通信	277, 280

Contents of the HEAVENS, No. 157 (May, 1934)

Copernicus and Surroundings, At the Meeting of Eclipse Reports, Large Reflector proposed for the Nanking Observatory (Frontispiece); Editorial (241); Proceedings of April Meeting, O. A. A. (242); S. H. Groom, The camera discovers countless stars (243); Kwasan Notes (246); I. Y., My Views on Astronomical Terms (247); Y. Moriyasu, On an Astronomical Poem of 1874 (251); LATEST NEWS ON ASTRONOMY (253); Latest Literatures of Foreign Astronomical Magazines (255); Latest Kwasan Bulletins (257); Monthly Reports of Observing Section, O. A. A. (260); T. Hiroi, Astronomical books in Hukuyama Library (269); Y. Shibata, Diaries of Eclipse Trip, iii (271); The Heavens of May, 1934 (278); Associations Reports (277 & 280).

東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

會長	山本一清	(京都市梨ノ木町今出川下ル東)〔電話上5098〕
副會長	水野千里	(岡山市門田21)
會計監督	池田政晴	(京都市左京區岡崎黑谷町11)
幹事	竹田新一郎	(京都市上京區石藥師通河原町西入)
同計	稻葉通義	(京都市花山天文臺)
會部	高城武夫	(同上)〔電話上6165〕
本部	京都市山科, 花山天文臺	
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市〔電話35〕	——原名譽臺長〔電話75〕

一支 部一

同志社大學內〔電話上局430〕	垂石	井橋	増太	郎達
京都市錦上ル明倫小學校〔電話上局2236〕	井伊	秀二	勇郎	次場
京都市第三高等學校〔電話上局301〕	楓山	孝辨	義里	三
東區安土町三丁目船場小學校〔電話上局930〕	小村	孝發	香文	千慶
大阪府豐中中學校〔電話岡町118〕	井小	改大	水森	
和歌山縣有田郡金屋	河真	惠廣	內山	古村
兵庫縣尼崎商工實修學校〔 〕	上田	太荒	荒	
神戸市須磨區關守町〔須磨140〕	路田	藤津	海本	賀
姫路高等學校〔電話1145〕	甲安	一藤	孝和	太次
岡山市門田21	午郎	吉夫	齊吉	郎一
津山市山下96〔 〕	郎夫	郎吉	夫齊	吉郎
高松市	廣島市	上柳	町34	
松山高等學校〔電話松山 395〕	山口市	山口縣	教育博物館〔電話294〕	
廣島市上柳町34	下關市	丸山町	梅光女學院〔 〕	
山口市山口縣立教育博物館〔電話294〕	福岡縣	前原町	西町	
下關市丸山町梅光女學院〔 〕	熊本市	縣立工業學校〔電話252〕		
福岡縣前原町西町	大津市	通町二丁目207		
熊本市縣立工業學校〔電話252〕	第七高等學校	造士館〔電話 7〕		
大津市通町二丁目207	東區德川	町6ノ6〔東4204〕		
第七高等學校造士館〔電話 7〕	濱松市	高等工業學校〔電話973〕		
東區德川町6ノ6〔東4204〕	世田谷區	弦卷町1の142〔電話世田谷3050〕		
濱松高等工業學校〔電話973〕	長野縣	上田市原町三丁目〔 〕		
世田谷區弦卷町1の142〔電話世田谷3050〕	長野縣	上田市原町三丁目〔 〕		
橫濱市	松本市	筑摩部		
世田谷區弦卷町1の142〔電話世田谷3050〕	長野縣	上諏訪中學校〔電話201〕		
長野縣上田市長野市	札幌市	北六條西十一丁目		
松本市筑摩部	旭川中學校	內〔 〕		
長野縣上諏訪中學校〔電話201〕	小樽市	綠町三丁目八番地ノ47		
札幌市北六條西十一丁目	奉天市	葵町12の2		
旭川中學校內〔 〕	大連市			
小樽市綠町三丁目八番地ノ47	京城府			
奉天市葵町12の2	臺北市	大正町五條觀測所〔 〕		
大連市	上海狄思威	余里16		
京城府	P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.			
臺北市大正町五條觀測所〔 〕	Fazenda 1a Allianca, E. Iussianvira,			
上海狄思威余里16	L. Noroeste, S. Paul, Brazil			
P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.				
Fazenda 1a Allianca, E. Iussianvira,				
L. Noroeste, S. Paul, Brazil				
	見元	了		
	水口	民次郎		
	M. Nagata(長田政二)			
	S. Kamiya(神屋信一)			

天界 第百五十七號 昭和九年四月二十四日印刷 〔定價金參拾錢〕送料金壹錢

編輯兼發行者 京都市山科, 花山天文臺內(振替大阪56765) 東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂(電本426. 427. 4501)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助
賣捌 東京市芝區南佐久間町2の3 恒星社(振替東京64738)

東亞天文協會

會員に關する報告 (3月中)

入 會

草 場 修	大阪市浪速區惠美須町二丁目116, 小倉方
金 順 澤	京城府外延禧放送所
田 中 英 太 郎	京都市東山區三條通東山線西入北側
尾 崎 正 次	宇治山田市宮後町535
矢 野 恕 一	愛媛縣喜多郡大洲町中村, 聖公會
中 村 捨 松	朝鮮忠清南道大田公立中學校
江 口 勝	札幌市南四條西十八丁目
武 田 富 造	桐生市西久方町一丁目

轉 居

村 上 美 嗣	京都府福知山町新町三ツ丸福知山店
山 邊 正 (元大津)	愛知縣知多郡師崎町, 師崎病院
藤 松 吉 次 (元京都)	新潟縣信越本線二本木驛前, 日本曹達會社内
森 下 功	廣島市昭和町594 建島方
平 野 四 十 男	京都市左京區下鴨松原町11, 今井方
眞 田 安 夫	廣島市上柳町34
若 月 彌 八 (元神奈川)	東京市足立區北千住町大川町2, 佐多商店内
野 尻 抱 影	東京市世田谷區深澤町四ノ65
鹽 見 幸 三 (元京都)	岡山市國富, 六高寮内
佐 藤 直 枝	京都市上京區, 同志社女專校活水寮
須 田 政 子 (元京都)	静岡縣沼津市千本濱, 須田病院
中 村 誠 郎	東京市小石川區大塚町56, 茗溪會館
酒 井 庄 五 郎	東京市江戸川區逆井町2387
五 十 川 一 郎	大阪市西區江戸堀下通三丁目17
山 田 榮 三 郎	大阪府豐能郡曾根芳正園
大 口 周 作	大阪府南河内郡野田村字西野117

訂正 天界二月號新入會者關中松山高等學校物理教室の吉居清氏は, 土居清氏に就き訂正, 又四月號入會欄中松橋恭子氏の住所は東京市世田谷區上北澤三の877に就き訂正致します。

〔改稱〕 木 下 謙 愛媛縣喜多郡大州町若宮
清 家 美 材 廣島市翠町1490ノ20

注意 移轉通知を御送り下さる方は, 新住所に必ず前住所を並記されたし。會員名簿整理の都合上, 新, 舊住所御並記なき場合「天界」不着に終る事あるべし。(事務室)

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記の十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小槻孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一清)
7. 機械課 (課長 木邊成鷹)
8. 寫真課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本一清, 幹事 木邊成鷹, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫真課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補佐スル。
- 第四條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事が出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計ハ月十五錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事。

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習 (各地デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌“天界”ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

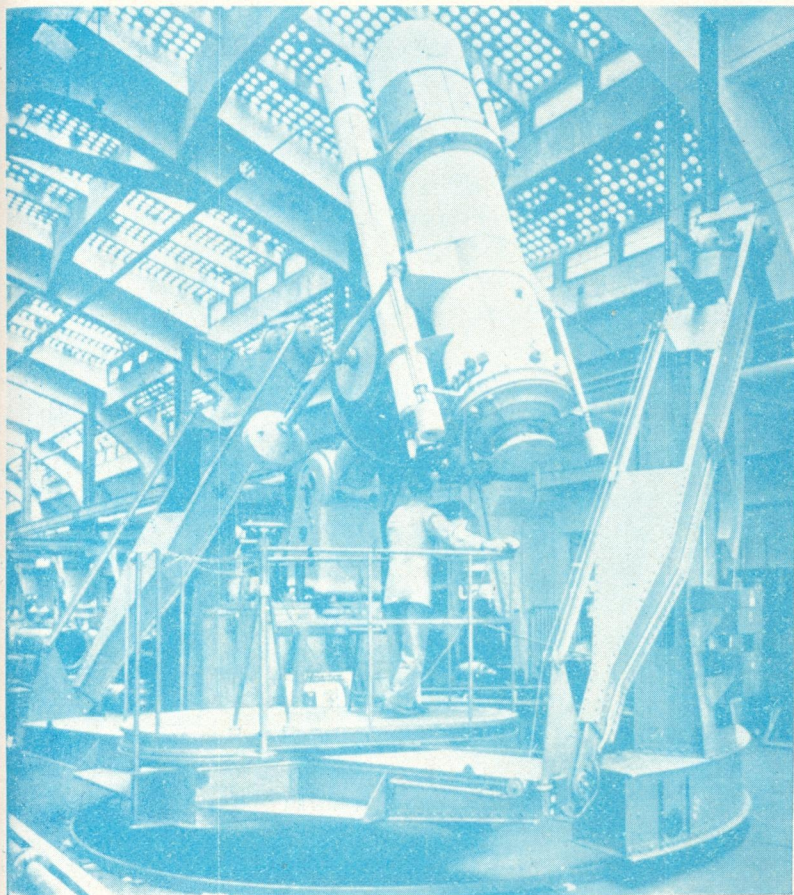
會 員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圖トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ釀出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

役 員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評 議 員 若干名 役員ノ相談相手トナル



紫金山天文臺の大反射鏡

支那の首都「南京」の郊外「紫金山」上にモダン天文臺が建築されてゐるといふことは聞いてゐたが、最近此の天文臺の主要器械として口径 60cm の反射式赤道儀が獨國ツァイス會社で作られてゐることを知つた。其れは此の圖にある通り堂々として眞に東洋一のもので、天體の寫眞やスペクトル研究を目ざしてゐるといふ、臺長余青松氏の得意も想像される。——なんだけ、之れで、我日本の天文學界は支那に一足先んじられた形である。

